

地区概要

本地区は秋田県の南西部に位置し、西は日本海に面し三方を出羽丘陵囲まれ21の集落が散在している。水田は小区画のものが多く、水路等も十分整備されていないため作業効率が低いことに加え、渇水期の用水確保が困難であることなどから耕作放棄地の拡大が懸念されていたが、本事業によって生産性の向上が図られ、耕作放棄地の抑制につながった。

事業概要

■実施目的

耕作放棄地拡大を防止し、省力化を目指した農業生産優良農地の保全を図るため、生産性の向上と田畑複合経営に向けた整備を行う。

■事業主体：由利本荘市

■事業工期：H11～H13

■受益面積：32ha

■総事業費：125百万円

■事業工種（農業生産基盤整備）

用排水路：5.1km

暗渠排水：10ha

事業実施前



- 素掘土水路
- 洗掘、法面崩壊、漏水等
- 用水確保に支障



- 湧水等による軟弱地盤
- 地下水位が高く、転作物を含め農地の高度利用に多大な支障

事業実施後



- 通水能力向上
- 必要用水量確保、冠水被害防止
- 水管理合理化、維持管理費軽減



- 水管理の容易化
- 地耐力増強により大型機械を用いた営農及び田畑複合経営が可能に

事業による効果

●本地区の用水路は、大部分が素掘土水路であり、洗掘や法面崩壊による断面不足または漏水等で通水能力が不足し、用水確保に支障をきたしていたが、本事業の結果、必要用水量の確保と通水能力の向上により、水管理の合理化及び農業生産性の向上が図られ、また、維持管理費についても軽減することができた。[維持管理費 約400千円／年の軽減] H10とH14比較

●山間地特有の湧水等による軟弱地盤のため地下水位が高く、転作物を含め農地の高度利用に支障をきたしていたが、本事業で暗渠排水を施工することにより、ほ場の水管理が容易に行えるようになり、また、地耐力が増強したことにより大型機械による営農及び田畑複合経営が可能となった。[トラクターを12馬力から30馬力に大型化・大豆の収量が100kgから250kgに増] H10とH14比較

地区概要

本地区は秋田県の南西部に位置し、西は日本海に面し三方を出羽丘陵に囲まれ21の集落が散在し、生活基盤の整備の遅れや高齢化から集落機能の維持が問題となっていたが、本事業により生活基盤が向上したほか、集落の活動が活発になった。また、恵まれた自然環境を生かして都市との交流を促進するなど若者の定着と地域の活性化を推進する。

事業概要

■実施目的

遅れていた生活環境基盤を整備するとともに、都市交流の拠点となる交流施設基盤施設を整備して地域の活性化を図る。

■事業主体：由利本荘市

■事業工期：H11～H13

■総事業費：112百万円

■事業工種（農村生活環境基盤整備）

農村公園：1ヶ所（4,500㎡）

集落道：132m

交流施設基盤整備：1ヶ所（13,200㎡）

集落環境管理施設整備事業

■農村公園

海と山、緑と白砂の恵まれた自然条件を活かした地域住民の憩いの場、都市交流の場としての公園整備が要望されていたものであり、現在は地域住民のスポーツやレクリエーションの場として広い世代で利用されている。



■集落道

以前は幅員狭小で除雪車や緊急車両の進入に対処できない状況にあり、通勤、通学の面から危険な状況にあったが、本事業で拡幅・舗装整備を行ったことにより冬期間の除雪の確保や緊急車両の進入が容易となり、安全性、利便性が高まり地域の生活環境の向上が図られた。



整備前



整備後

交流施設基盤整備事業

本事業において、親子都市等との交流や地域の文化活動拠点として用地整備を行い、さらに地域資源活用総合交流促進施設を建設し多くの方に利用されている。



整備前



整備後



現在

事業全体での効果

農業生産基盤により生産性が向上したこと、生活環境整備により集落内の活性化や環境の向上が図られたことにより、受益地区内での集落営農組織の立ち上げが可能となった。

【新規組織名】 君ヶ野集落営農組織（営農面積 A=4.2ha） 設立月日 H18.7.30